

# 各ライフステージにおける歯科口腔保健施策について

	妊娠・出産期 マイナス1歳	乳幼児期 0～5歳	学齢期・青年期 6～18歳	成人期 19～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	
目標	生まれてくる子どものための 両親の歯・口腔の健康づくり ○妊娠中の生理的変化等により 増加するむし歯・歯周病の予防	むし歯予防 口腔機能の獲得 ○適切な生活習慣(食後・就寝前の歯みがき等) 確立	むし歯・歯周病予防 健康格差の縮小 ○歯肉に炎症所見を有する者の割合 中学生 19.7%(R4)【減少傾向】 →歯周病予防意識の啓発	健全な口腔状態の維持 ○歯・口腔の適切なケア習慣 ○歯科疾患予防(特に歯周病予防)	歯科疾患の早期発見・早期治療 ○歯周病の重症化予防 ○歯周病の影響による全身疾患の発症・重症化予防	歯の喪失防止 口腔機能の維持・向上 ○オーラルフレイル対策	
現状と課題	○妊産婦歯科健診受診率 36.0%(R5)【増加傾向】 ⇒更なる受診率の向上	○むし歯のない者の割合 3歳児 88.9%(R5)【政令市最下位】 12歳児 64.4%(R4) ⇒むし歯予防の対策強化	○歯肉に炎症所見を有する者の割合 中学生 19.7%(R4)【減少傾向】 ⇒歯周病予防意識の啓発	20歳代 22.2%(R4)【減少傾向】 ⇒今後を見据えた予防	○歯周病検診受診率 5.6%(R5)【微増傾向】 ○歯周炎を有する者の割合 40歳 52.0%(R5) 60歳 61.7%(R5) ⇒更なる受診率の向上	○自分の歯を有する者の割合 80歳20本以上 57.7%(R4) ○口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防 することを知っている者の割合 65歳以上 54.1%(R4) ⇒更なる普及啓発	
主な指標 ※一部抜粋	○健診受診率の増加 妊産婦 38.4%(R4)→46.0%(R9) 36.0%(R5)	1.6歳児 77.3%(R5)→84%(R9) 3歳児 67.9%(R4)→79%(R9) 70.5%(R5)	○歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少 中学生 19.7%(R4)→18.6%(R8)	20歳代 22.2%(R4)→14%(R10)	○歯周炎を有する者の割合 40歳 52.0%(R5)→48.5%(R9) 60歳 59.6%(R4)→52%(R9) 61.7%(R5)	○口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防する ことを知っている者の割合の増加 65歳以上 54.1%(R4)→70%(R10)	
		○むし歯のない者の割合の増加 3歳児 87.7%(R4)→92%(R9) 88.9%(R5)	12歳児 62.4%(R4)→67.9%(R8) 64.4%(R5)	○過去1年間に歯科健康診査 を受診した者の割合の増加 19歳以上 46.8%(R4)→50%(R10)	○かかりつけ歯科医を 決めている人の割合 40～64歳 69.0%(R4)→74%(R10)	○自分の歯を有する者の割合の増加 60歳24本以上 74.1%(R4)→87%(R10) 80歳20本以上 57.7%(R4)→75.0%(R10) ○歯周病検診受診率の増加 6.0%(R4)→10%(R9) 5.6%(R5) <small>(北九州市しあわせ長寿プラン) ○後期高齢者歯科健診受診率 8.1%(R4)→16%(R8) 7.2%(R5) <small>(北九州市しあわせ長寿プラン) 一般高齢者 77.9%(R4)→80%(R8) 在宅高齢者 73.6%(R4)→80%(R8)</small></small>	
行政の主な取組み	○歯科健(検)診 妊産婦歯科健診 (妊娠中から産後1年以内)	乳幼児歯科健(検)診 (1.6歳、3歳、4・5歳) ○フッ化物応用 塗布(1.6歳・3歳)	学校歯科検診 (小・中学生、高校生) 洗口(小学校) 塗布(特別支援学校(小))	親子歯科健診 (1.6歳児の保護者)	○歯科(健診)受診促進 働く世代のオーラルヘルス推進事業	歯周病(歯周疾患)検診 (30歳・40歳・50歳・60歳・70歳) ○歯科保健指導等 歯科医師・歯科衛生士によるお口を元気にする出前講演	後期高齢者歯科健診 (76～80歳) 健口相談(オーラルフレイルチェック) 健口ストレッチ講座
		○歯みがき指導 子どもむし歯予防教室(保育所・子ども食堂等)	歯みがき指導 (小学校)				
		○口腔保健推進会議の開催(学識経験者及び保健、医療、社会福祉、労働衛生、教育、地域等の関係者から構成する会議)					
		○正しい知識の普及啓発(歯科疾患の予防、全身疾患との関連、口腔機能の維持・向上)					
市民の行動目標	セルフケア ○安定期(妊娠16週頃～)の 歯科受診(健診を含む)	しっかり噛んで、食後は歯みがき(毎食後の丁寧なセルフケア) ○適切な生活習慣の確立	しっかり噛んで、食後は歯みがき(毎食後の丁寧なセルフケア) ○歯みがきによる歯肉炎予防	継続 (セルフケアとプロフェッショナルケアの両立)	○歯周病検診の受診 (歯周病の早期発見・早期治療)	○定期的なお口の体操等による 口腔機能の維持・向上 (歯周病の重症化予防)	
		プロフェッショナルケア ○安定期(妊娠16週頃～)の 歯科受診(健診を含む)	かかりつけ歯科医をもち、年1回以上、歯科を受診(各種歯科健診の活用等) ○フッ化物を活用したむし歯予防	○歯科医院での定期的な歯石除去等			
関係機関の取組み		各種歯科健(検)診の実施※	各種歯科健(検)診の実施※		各種歯科健(検)診の実施※	各種歯科健(検)診の実施※	
		歯科保健指導※	歯みがき指導※		歯科保健指導※	歯周病検診後の高度な歯科口腔治療	
		おやこの食育教室	総合の時間を活用した 「歯と口の健康」に関する指導		企業健診の個別健診への取組み	企業の歯科保健活動を推進するための広報活動	
						高齢者の口腔機能維持・向上に関する医科・歯科連携の推進	
						普及啓発(むし歯予防・歯周病予防)※	

※行政の主な取組みの再掲(委託事業等)